

THE FOURTH INTERNATIONAL SYMPOSIUM ON NEW GLASS

第4回ニューガラス国際シンポジウム

第4回ニューガラス国際シンポジウムは、1993年11月16日、17日の両日にわたって、機械振興会館（東京・芝公園）において開催されました。

今回のシンポジウムはニューガラスフォーラム国際委員会（委員長：大阪府立大学教授・南 努氏）により年5月から企画・準備をすすめてまいりましたが、フォーラムの会員を重視した産業中心のテーマで構成されました。

シンポジウムは、ニューガラスフォーラム会長・岸田清作氏の開会挨拶、通商産業省窯業建材課長・平松博久氏の来賓挨拶に始まって、10名の招待講演者の方々から、「建築」、「新しい応用」、「新技術」、「オプトエレクトロニクス」、「エレクトロニクス」の五つのセッションにおいて、ニューガラスの現状と将来についての興味深いお話を伺うことができました。

また、ポスターセッションにおきましては、会員企業の担当者の方々より、21件の新しい製品・技術の紹介がなされ、ポスター会場では参加者からの熱心な質問を受ける光景がそこかしこで見受けられました。

第1日目のセッション終了後、パーティ会場に場所を移して、招待講演者をはじめ多数の方々の参加を得て、懇親会が開かれました。

懇親会では、南委員長の開会挨拶ののち、米国から参加していただいたアルフレッド大学のPye教授に副委員長の和田正道氏（日本電気硝子）よりINTERGLAD Version IIが贈呈され、コーニング社副社長のMeiling氏の乾杯で、和気あいあいたる雰囲気の中に、自由な意見交換の場がもたれました。

長引く不況にもめげず、産・官・学より約170名の熱意に満ちた参加者があり、国際委員会の各位より推挙された招待講演者およびポスター発表者によるプレゼンテーションも内容的に充実しており、各座長の方々の適切な司会もあって、極めて好評、盛会のうちに終始し、南委員長の閉会挨拶で幕を閉じました。

このシンポジウムの開催に際しましては、多くの方々のご協力やご支援を得ました。ここに、あらためて関係各位に御礼申し上げます。